

『2014 日光・足尾エクスカージョン』のご案内

2014
11/9
SUN

鉾都足尾から日光を巡る近代土木遺産の旅 ②

～命を守り暮らしを支える土木技術、近代の精華の足跡を訪ねる～

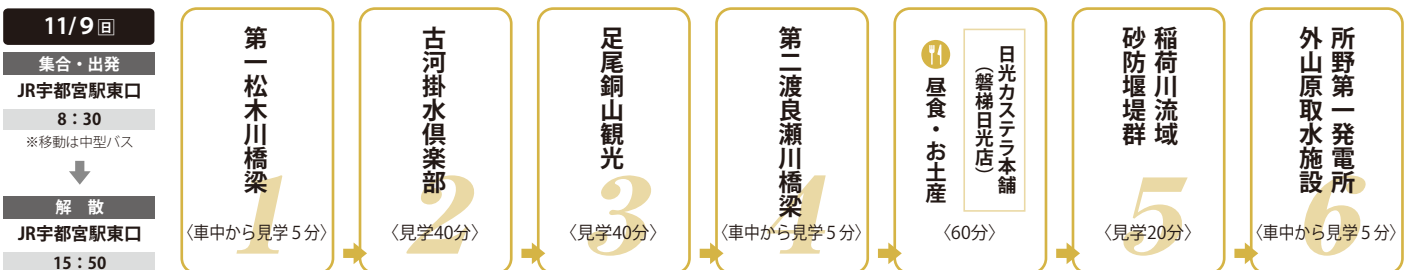
【土木遺産とは…】ダムや橋梁など歴史的に価値のある建造物のこと。今回のエクスカージョンでは明治から昭和初期、戦後30年代までの土木遺産が中心。



私たちの周りには、人々の命を守り暮らしを支えてきた歴史的な土木構造物がひっそりと佇んでいます。これらの構造物は、地域の風土に馴染み見慣れた風景の一部となっているためその存在は意識されることもありませんが、地域の安心安全、暮らしと産業の近代化に大きく貢献してきた“地域発展の記念碑”とも言うべきものなのです。

今回のエクスカージョンでは鉾都足尾から日光を訪ね、わが国の産銅業を席卷した足尾銅山（通洞坑）、銅産出量の飛躍的な増大に伴う輸送需要を支えた交通インフラ近代化の金字塔である第一松木川橋梁と第二渡良瀬川橋梁、また、足尾銅山隆盛の華やきを今に伝える古河掛水倶楽部を訪ねます。さらに、わが国の近代砂防の時代を画した稲荷川流域砂防堰堤群（本年度、土木学会選奨土木遺産に認定）、現存するわが国現役最古の水力発電施設である所野第一発電所外山原取水施設（昨年度認定の土木学会選奨土木遺産）を巡りながら、私たちの命を守り暮らしと産業の近代化を牽引してきた近代土木技術の精華、土木事業が果たしてきた役割について考えてみましょう。

■ 日光・足尾エクスカージョンスケジュール ■



※一部スケジュールの見学順番が前後する場合があります。

■ 申し込み・問合せ先 ■

土木学会関東支部栃木会 事務局 〈(公財)とちぎ建設技術センター内〉 TEL.028-626-3114

- 参加資格：どなたでも参加できます。幼児・児童は保護者、身体の不自由な方は、介添人の同伴が必要です。（※ペットを連れての参加はご遠慮ください）
- 参加費：18歳以上3,000円・18歳未満2,000円（入館料・昼食代、保険代を含む） ■お申込みメチ：平成26年10月30日休
- 定員：80名（※定員になりしだい、募集を終了します）

〈主催〉土木学会関東支部栃木会